

# 「残る建築 ～100年目指すには～」

2020年東京オリンピック開催を目前に控え、都心では「古い」建物が壊され、新しい建物に日々建て替わっています。「古い」建物では、防災、IT対応、省エネ、面積効率などの「いま」の時代の要求には応えられないということがあるかと思えます。しかし、ただ単に壊し、建て替えることが、社会や時代の要求に対する最良の解答なのでしょうか。

今回は、建設当時、建築設備的にエポックメイキングとなった建物、施設に注目し、リニューアルやコンバージョンによって、「いま」の建物として時代や社会の大きな変化の波に対応した実例を紹介します。

本講習会が、リニューアルやコンバージョンの成功例としてだけでなく、新築建物への応用など「残る建築」として、これからの建築及び設備技術のあり方や100年建築を考えるヒントになることを期待します。

主催：一般社団法人 建築設備技術者協会 定員：100名（定員になり次第締め切ります）  
 後援：(公社)ロングライフビル推進協会(BELCA) 会場：エッサム本社ビル グリーンホール  
 開催日：平成30年9月28日(金) 10:00～16:40 (千代田区神田須田町1-26-3)  
 参加費：会員17,000円 一般20,000円 交通：JR神田駅東口 徒歩3分、銀座線神田駅 徒歩1分

## ■プログラム案

※講師・テーマ詳細は変更となる場合があります

時間	講演テーマと概要	講師(敬称略)
10:00 ～10:05	<b>主催者あいさつと主旨解説</b>	金子 英幸 事業委員会委員・(株)日本設計
10:05 ～10:50	<b>【基調講演】建築機能を100年間維持するために必要なコト ～過去と未来～</b> 長期にわたって使用し続ける建築には、時代の変化に柔軟に対応する強靱な性能が求められる。適切な維持保全も重要だ。残すことを前提とした超高層プロジェクトや、建築設備技術遺産の事例を通してその可能性を探りたい。	秋元 孝之 芝浦工業大学 建築学部 建築学科 教授
10:50 ～11:30	<b>新宿センタービル ～超高層ビルのリノベーション～</b> 新宿新都心7番目の超高層ビルとして建設された新宿センタービルは築38年を迎えた。魅力あるテナントビルとして存続する取り組み、100年使い続けることを目指した取り組みについて概説する。	三宅 英司 大成建設(株) 設計本部 設備設計第二部 設計室 シア・インジニア
12:35 ～13:20	<b>クリスタルタワー ～熱源・空調リニューアル～</b> クリスタルタワーは、電力負荷平準化とインテリジェントビルの機能を持って、1990年に竣工した建物である。竣工後15年を経過して、熱源・空調リニューアルを計画・実施し、建物資産価値の向上を目指した。	粕谷 敦 (株)竹中工務店 大阪本店 設計部 設備部門 グループ長
13:20 ～14:05	<b>東京ドーム</b> 1988年に竣工して以来、空気膜構造建築物として維持管理制御を休むことなく継続してきた。加圧融雪、防災、空気膜維持制御、大空間空調、水の有効利用の計画及び稼働実績や省エネ推進および環境負荷低減と演出効果の高い照明環境の実現を目指したアリーナ内の全照明LED化などについて概説する。	高井 啓明 (株)竹中工務店 設計本部 フリッジ・ル・インジニア
14:15 ～15:00	<b>地域熱供給のこれまでとこれから ～リニューアルの動向と箱崎DHCの事例紹介～</b> 1970年代に都市の大気汚染対策として登場した地域熱供給は、その後、省エネルギーや地球温暖化対策などニーズの変遷を経て、これからどこへ向かうのか。最近のリニューアル動向や箱崎DHCの事例を交え、地域熱供給のこれからを考える。	山川 智 東京電力E&G-パワートナ-(株) E&G事業本部 都市事業部 都市第四 営業グループマネージャー 兼 商品開発室
15:00 ～15:45	<b>大林組技術研究所 日本館 材料化学実験棟 ～オフィスビルを人と環境にやさしい“魅せるラボ”へコンバージョン～</b> 技術研究所“新本館”建設に伴い“旧本館(事務所ビル用途)”を“化学系ラボ”へとコンバージョン。物理的制約の中、化学系ラボに相応しい最先端の機能性・安全性・省エネルギー性を有し、それらが意匠デザインと合理的に一体化する“魅せるラボ”への再生がカギとなった。	沼田 和清 (株)大林組 設計本部 設備設計部長
15:55 ～16:40	<b>霞が関ビル リニューアル ～変わり続ける日本初の超高層～</b> 築50年を迎えた霞が関ビルは、第3次リニューアルが実施され、第4次となるリニューアル工事に取っかかっている。常にプライムなオフィスビルであり続けるための取組がなされている。	小笠原 昌宏 (株)日本設計 リノベーション設計部 副部長

申込方法 当協会ホームページ (<http://www.jabmee.or.jp/>) からお申し込みください。

問合せ先 (一社)建築設備技術者協会 〒105-0004 東京都港区新橋6-9-6 12 東洋海事ビル TEL 03-5408-0063